



平成 29 年 2 月 10 日

北海道へのクルーズ寄港回数、前年15.3%増の113回

2017 年における北海道へのクルーズ船寄港回数は、前年から約 15%増加の 113 回の見込みであり、寄港回数が年間 100 回を上回るのは 2014 年以来です。

2017 年における北海道へのクルーズ船寄港回数は、前年から約 15%増加の 113 回の見込みです。そのうち、日本船は約 2%増加の 54 回、海外船は約 31%増加の 59 回となっており、海外船が大きく増加する予定です。

なお、本年の寄港見込み回数は「サン・プリンセス」が北海道定点クルーズを行った 2014 年の 157 回に続いて過去 2 番目の記録となります。また、道内最多寄港回数は昨年と同じ函館港(31 回)となっています。

「シーボーン・ソジャーン」(32,340 トン)は函館港と釧路港に、「コスタ・ネオロマンチカ」(56,769 トン)は函館港に、「MSC リリカ」(65,591 トン)は室蘭港にそれぞれ寄港することで、北海道初寄港となります。(詳細別添)

【問合せ先】	国土交通省	北海道開発局	電話(代表) 011-709-2311	
	港湾空港部	港湾計画課	港湾企画官	早川 哲也 (内線5612)
	港湾空港部	港湾計画課	係員(振興)	島谷 奈緒美 (内線 5629)

2017年 クルーズ船寄港予定（2月1日現在）

港名	寄港数	日本船 寄港数	日本船 船名	海外船 寄港数	海外船 船名
函館港	31(26)	10(11)	飛鳥Ⅱ にっぽん丸 ぱしふいつくびいなす	21(15)	ザ・ワールド コスタ・ネオロマンチカ(初) シーボーン・ソジャーン(初) 他
小樽港	24(25)	10(11)	飛鳥Ⅱ、にっぽん丸 ぱしふいつくびいなす	14(14)	ダイヤモンド・プリンセス シルバー・ディスカバラー 他
釧路港	16(14)	4(4)	飛鳥Ⅱ、にっぽん丸	12(10)	シーボーン・ソジャーン(初) 他
沓形港 (利尻島)	11(8)	8(8)	にっぽん丸 ぱしふいつくびいなす	3(0)	ブレーメン
室蘭港	7(9)	2(3)	飛鳥Ⅱ	5(6)	MSCリリカ(初) ロストラル 他
網走港	4(5)	3(5)	飛鳥Ⅱ ぱしふいつくびいなす	1(0)	ダイヤモンド・プリンセス
香深港 (礼文島)	4(2)	4(2)	にっぽん丸 ぱしふいつくびいなす	0(0)	—
羅臼漁港	4(2)	4(2)	にっぽん丸	0(0)	—
稚内港	3(3)	0(3)	—	3(0)	ブレーメン
青苗漁港	3(0)	3(0)	にっぽん丸 ぱしふいつくびいなす	0(0)	—
苫小牧港	2(0)	2(0)	飛鳥Ⅱ	0(0)	—
鷺泊港 (利尻島)	2(1)	2(1)	飛鳥Ⅱ	0(0)	—
留萌港	1(1)	1(1)	飛鳥Ⅱ	0(0)	—
白老港	1(0)	1(0)	ぱしふいつくびいなす	0(0)	—
根室港	0(2)	0(2)	—	0(0)	—
合計	113(98)	54(53)		59(45)	※()内は2016年